



## 第 1402 回例会報告

平成27年2月26日(木)曇り

### 会長挨拶

会長 吉澤邦雄

### 本職業奉仕セミナーに参加して

先々週の三クラブ合同例会、先週のIMと連続して外に出掛けての例会でしたが、大勢の皆様に参加していただき有難うございました。本日は久しぶりのホーム例会になりますが、次年度の立ち上げと共に30周年の記念事業の仕上げがまだ残っておりますので、いずれも滞りないよう引き続きご協力をお願いします。

さて、先週の土曜日には塩尻市において「地区職業奉仕セミナー」が開催され出席してまいりました。松本 RC 所属、八十二銀行常務取締役の太田英行氏による「ロータリークラブの職業奉仕は良い会社をつくることである」というテーマの基調講演があり、導入部では先日の挨拶でも触れましたピケティの「21世紀の資本」が紹介されました。今話題の本ですので、既にお読みになった方もおられると思いますが、極端な格差社会の拡大に警鐘を鳴らし、もっと利益をシェアする必要があると説いている本です。

これに関連し、特に興味を引いたテーマは“成功している経営者の共通した意識”というもので、二宮尊徳の名言「道徳を忘れた(無き)経済は罪

悪であり、経済を忘れた道徳は寝言である。」を引用し、現在は市場原理主義一辺倒では立ち行かなくなっていること、会社永続の必要性とそのためには企業の社会的責任を自覚した上で“利他”の精神、つまりロータリーの“超我の奉仕”に相通ずる意識を持った企業が成功しているということで、伊那食品(塚越会長)の事例が紹介されました。成功し利益がでて継続できる会社は、社員、家族、取引業者を大切に、環境にも優しく社会のために貢献できる、即ち“職業奉仕”ができる会社だということです。

そもそもロータリーでいう職業奉仕の真の意味は「適正な利潤」を得て、自分の職業を通じてサービスを施し、社会のために尽くすこと。平たく言えば顧客満足度を高め、社会の要求に応じていくその過程の中に職業倫理が存在すること。非社会的、非道徳的職業を営んではいけないということでもあります。

最後にジェームス・ヘックマンというノーベル経済学賞を受賞した学者の「成功者に共通した潜在能力(資質)」を挙げておきます。①生真面目さ②開放性③外向性④協調性⑤精神的安定性があり、利他的行動(困っていたら助けずにはいられない)が取れる人だそうです。皆様いかがでしょうか？

#### ■出席報告

会員数	38名
出席対象	37名
出席者数	25名
出席率	67.6%
前回修正	89.2%

#### ■ニコニコBOX

2名	4,000円
累計	355,000円
目標額	60万円
達成率	59.2%

#### ■今週のことば

北原厚子さんありがとう。(バレンタインのチョコレートに感謝して)

吉澤邦雄

先日インド仏蹟に20年ぶりにお参りして来ました。お腹がP-Pになりました。

坂村龍玄



◇委嘱状伝達◇

渡邊芳紀会員に2600地区国際奉仕委員長が委嘱され委嘱状が届きましたので伝達しご挨拶をいただきました。ご苦労様です。



◇幹事報告◇

【理事会報告】

月日	曜日	回	内 容	担 当
3/05	木	1403	SBC放送諏訪局長による卓話(最近の放送業界として)	クラブ 会報・雑誌広報
3/12	木	1404	会員の健康診断卓話・脳と神経の病気について	職業奉仕
3/19	木	1405	財団法人片倉館館長山崎茂雄氏卓話	社会奉仕
3/26	木	1406	RLI(ロータリーリーダーシップ)研究会に参加して	青少年奉仕

- 1) 3月例会予定
- 2) 小口直久会員がRLI卒業予定です。ご苦労様でした。おめでとうございます。
- 3) 3月21/22日大津 RC30周年記念式典参加します。申し込み締め切りは3/7です。
- 4) 次回理事会は3月26日です。

【連絡事項】

- 1) PETS が3月28/29日開催されます。
- 2) 4月26日「湖岸清掃」の予定です。
- 3) IM で配布されたカップ麺をお配りします。(会長が IM ニコボックスに貢献したようです)



【受領文書】

- 1) 茅野 RC より IM 参加の令嬢が届きました。
- 2) 諏訪 RC よりウィークリーが届いています

1402 回例会

ビデオ観賞例会

社会奉仕委員会

社会奉仕はロータリーの第三奉仕部門です。

ロータリアンが個人として、あるいは他の人と協力して、地元、地域社会の人々に対する思いやりや援助の気持ちを形に表すような行為を言います。例えば、地元地域社会の住民のニーズや問題並びにその解決策を研究することや、解決のための行動と活動をすることです。また、青少年の問題に係わることも社会奉仕の1つの分野です。

今回は「先人に学ぶ社会奉仕」として大企業家片倉兼太郎の偉業を通して本来の社会奉仕のあり方を再認識し「地域にとって本当に必要なことに取り組んでいくことが私たちロータリークラブに求められている活動だ」と信じる機会としたいと思います。

